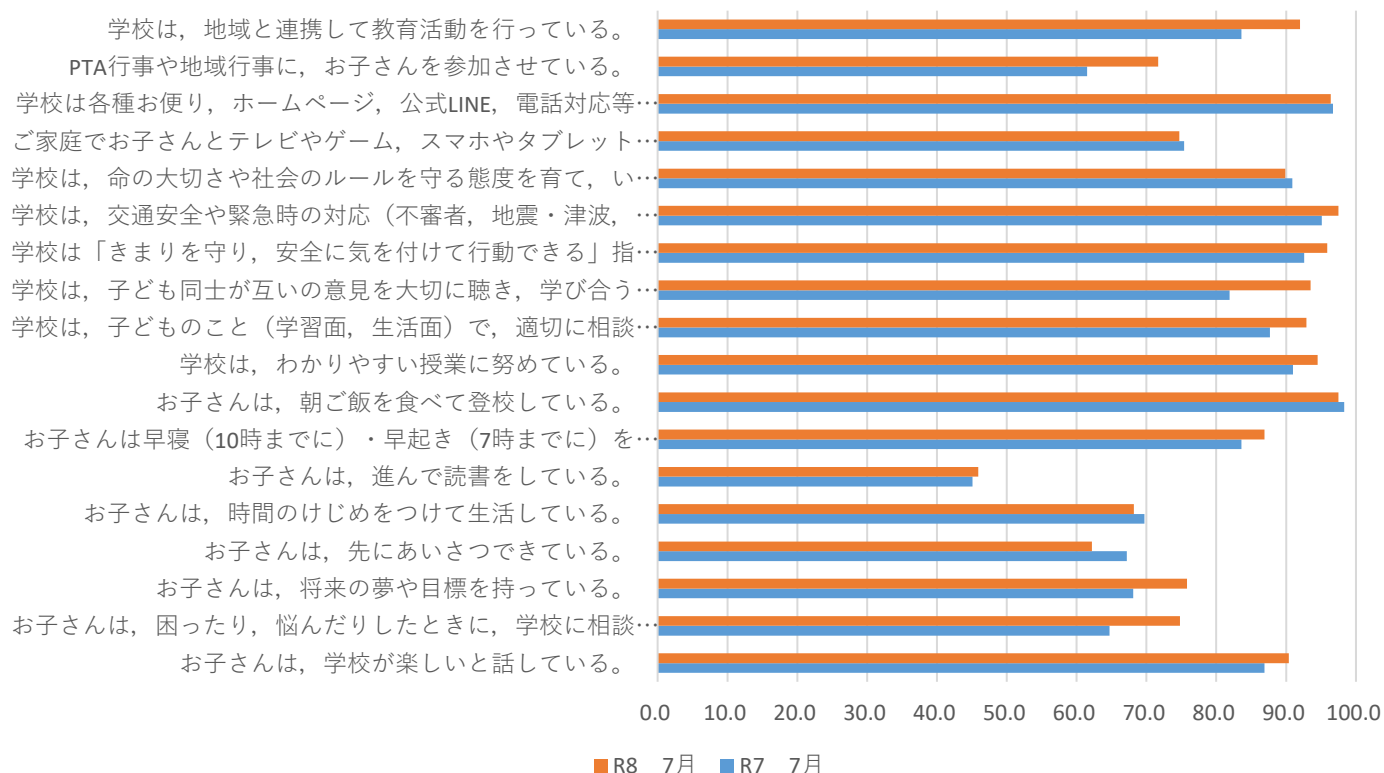


学校評価（保護者）第1回目 198 件

	観 点	R7 7月	R8 7月	増減
1	お子さんは、学校が楽しいと話している。	86.9	90.4	3.5
2	お子さんは、困ったり、悩んだりしたときに、学校に相談できている。	64.7	74.8	10.1
3	お子さんは、将来の夢や目標を持っている。	68.1	75.8	7.7
4	お子さんは、先にあいさつできている。	67.2	62.2	-5.0
5	お子さんは、時間のけじめをつけて生活している。	69.7	68.2	-1.5
6	お子さんは、進んで読書をしている。	45.1	45.9	0.8
7	お子さんは早寝（10時までに）・早起き（7時までに）をしている。	83.6	86.9	3.3
8	お子さんは、朝ご飯を食べて登校している。	98.3	97.5	-0.8
9	学校は、わかりやすい授業に努めている。	91.0	94.5	3.5
10	学校は、子どものこと（学習面、生活面）で、適切に相談に応じている。	87.7	92.9	5.2
11	学校は、子ども同士が互いの意見を大切に聴き、学び合う授業づくりに努めている。	81.9	93.5	11.6
12	学校は「きまりを守り、安全に気を付けて行動できる」指導を行っている。	92.6	95.9	3.3
13	学校は、交通安全や緊急時の対応（不審者、地震・津波、火災等）の指導を適切に行っている。	95.1	97.5	2.4
14	学校は、命の大切さや社会のルールを守る態度を育て、いじめや暴力、不登校のない学校づくりに努めている。	90.9	89.9	-1.0
15	ご家庭でお子さんとテレビやゲーム、スマホやタブレットを使う時間をきめている。	75.4	74.7	-0.7
16	学校は各種お便り、ホームページ、公式LINE、電話対応等で学校の様子や情報を伝えている。	96.7	96.4	-0.3
17	PTA行事や地域行事に、お子さんを参加させている。	61.5	71.7	10.2
18	学校は、地域と連携して教育活動を行っている。	83.6	92.0	8.4

学校評価（保護者）



1. 学校の強み（評価が高く、保護者からの信頼が厚い点）

① 安全指導・授業品質・情報発信に対する非常に高い信頼

安全・防災指導（項目13: 97.5%）や生活指導・安全（項目12: 95.9%）、情報発信（項目16: 96.4%）は95%を超えており、学校の基本機能に対する保護者の安心感が非常に高い。わかりやすい授業（項目9: 94.5%）も高評価である。

② 主体的な対話的学びや相談対応の大幅な改善（伸び幅が大きい）

「互いの意見を大切に聴き、学び合う授業づくり」（項目11: 81.9% → 93.5% / +11.6）が大きく向上しており、授業改善の取り組みが保護者にも伝わっていると考ええる。

「子どもが学校に相談できている」（項目2: 64.7% → 74.8% / +10.1）や「学校が適切に相談に応じている」（項目10: 87.7% → 92.9% / +5.2）も大きく伸びており、学校側の相談体制や対応力への評価が高まった。

③ 地域連携・学校生活の満足度の高まり「学校が楽しい」（項目1: 86.9% → 90.4% / +3.5）が9割に達しており、先ほどの児童評価（88.5%）とあわせても、子どもたちが楽しく通えていると考ええる。

「地域と連携した教育活動」（項目18: 83.6% → 92.0% / +8.4）や「PTA・地域行事への参加」（項目17: 61.5% → 71.7% / +10.2）も伸びている。

2. 学校の弱み・今後の課題（評価が低い点・低下傾向にある点）

① 「読書習慣」の定着不足（最も低い項目）「進んで読書をしている」（項目6: 45.9%）は全項目の中で唯一50%を下回っており、前年比でもほぼ横ばい（+0.8）である。児童評価でも読書は微減（75.4%）していたが、保護者から見ると「自発的に本を読んでいる様子が見えない」と感じている割合がさらに高くなっている。

② 生活習慣・マナーの定着（あいさつ・時間のけじめ）の低下

「先にあいさつができていない」（項目4: 67.2% → 62.2% / -5.0）と下落している。児童評価（80.8%）とのギャップもあり、家庭や地域での自発的なあいさつが今後の課題と考えられる。

「時間のけじめをつけて生活している」（項目5: 69.7% → 68.2% / -1.5）も7割を下回って微減しており、家庭内での基本的な生活習慣の継続指導が求められている。

③ いじめ予防・命の大切さに関する指導の微減「いじめ・暴力・不登校のない学校づくり」（項目14: 90.9% → 89.9% / -1.0）は約9割と高水準だが、わずかに減少している。

児童評価と保護者評価を合わせた総合的な視点

視点共通する強み・傾向共通する課題・ギャップ強み・授業のわかりやすさや安全指導への高い満足度・教員と児童・保護者間の「相談体制」や「ほめる指導」の強化・学校側の取り組みや指導体制への評価は非常に高い。課題・家庭での「読書習慣」の伸び悩み・ゲーム・スマホ等の時間設定などの生活ルール・「あいさつ」に対する認識ギャップ（児童は80.8%ができていない意識だが、保護者は62.2%にとどまり前年比-5.0%）

保護者評価からは、「学校の指導や授業・安全体制には大満足している一方で、家庭内での自律的な行動（読書・あいさつ・時間のけじめ）にはまだ課題を感じている様子である。学校での学びや変化をどう家庭での行動につなげていくか（家庭との連携強化）が、今後重要になってくる。

※保護者の皆様、ご意見についても多数いただきました。いただいた御意見は、今後の学校運営に生かして参ります。ご協力ありがとうございました。